

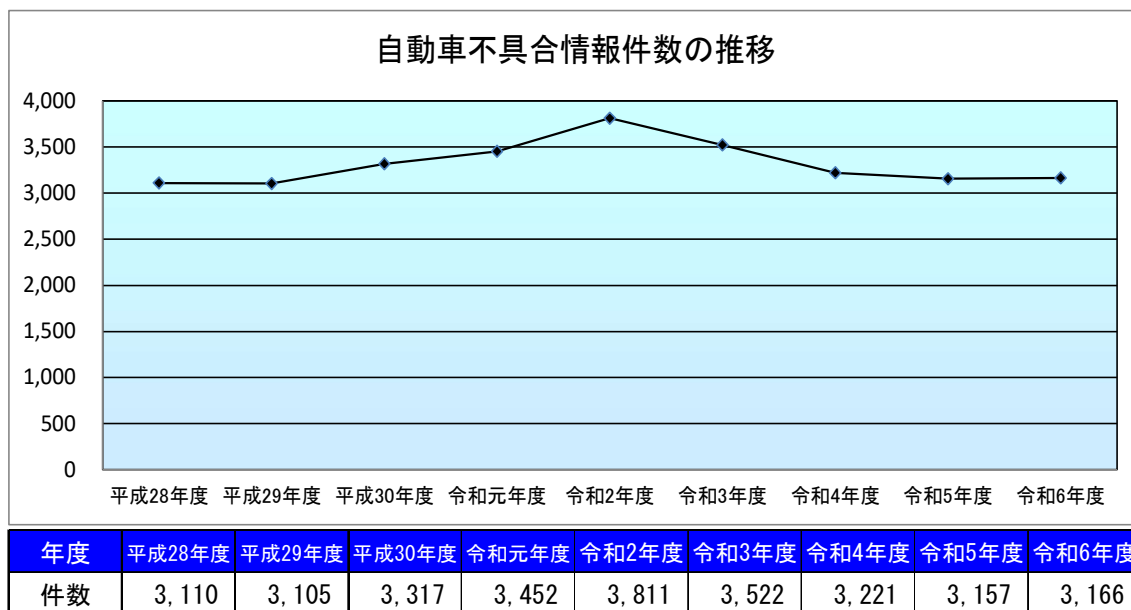
令和6年度の自動車不具合情報の統計結果について

国土交通省の自動車不具合情報ホットライン (<https://renrakuda.mlit.go.jp/renrakuda/hotline.html>) に自動車ユーザー等から寄せられた自動車の不具合情報について、令和6年度の統計結果をとりまとめたので公表いたします。

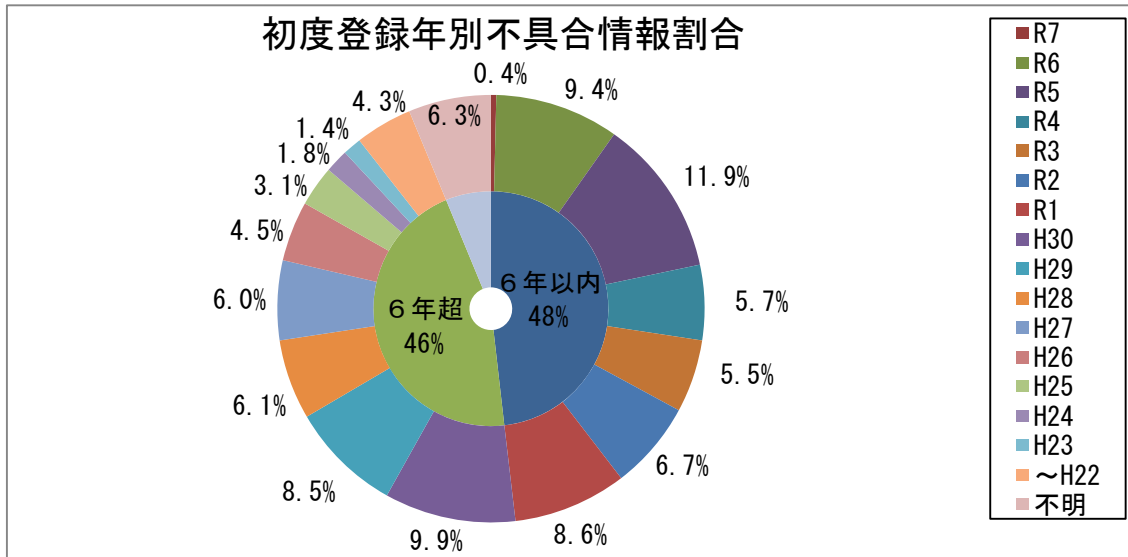
なお、本自動車不具合情報は、設計又は製造に起因するものに限られておらず、整備不良やユーザーの誤使用等に起因する可能性があるものも含まれています。また、本統計はあくまでもユーザーの申告による不具合情報を元にしており、国土交通省として不具合情報の内容について事実関係を保証しているものではありません。

1. 令和6年度に国土交通省の自動車不具合情報ホットラインに寄せられた情報の件数は5,103件であり、そのうち有効な自動車不具合情報件数は3,166件であった。

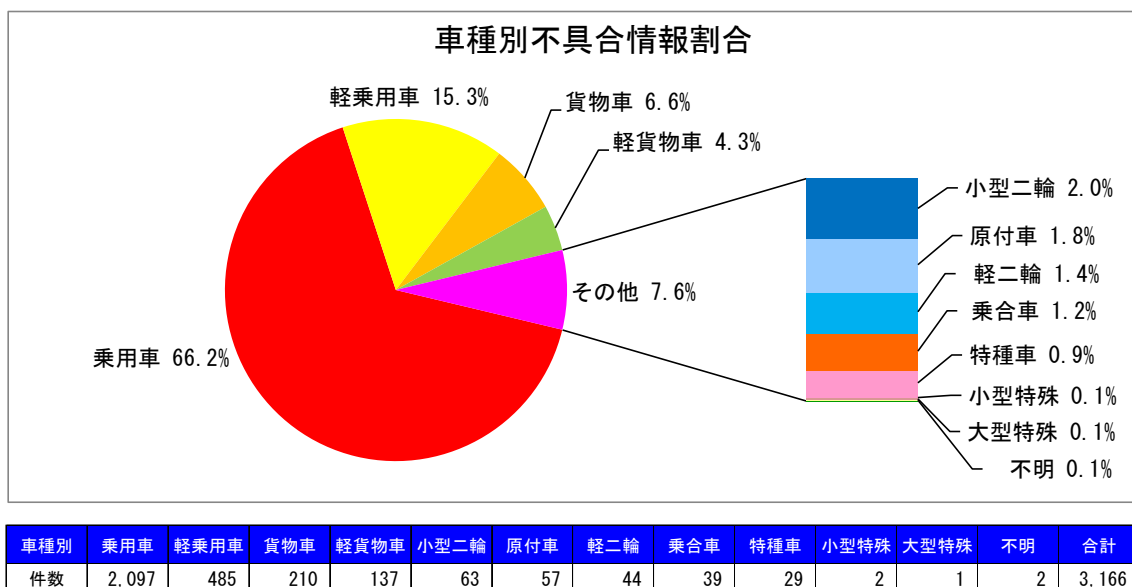
件数の推移をみると平成28年以降令和2年度までは緩やかな増加傾向であったが、令和3年度以降は減少に転じている。



2. 初度登録年別（軽自動車にあっては初度検査年。以下同じ。）の不具合情報件数は、初度登録年が令和5年の自動車が377件(11.9%)と最も多く、次いで平成30年の自動車が314件(9.9%)となっている。初度登録後6年以内の自動車に関わる不具合情報件数と6年超経過した自動車（不明を除く。）に関わる不具合情報件数を比較すると、大きな差はなく、6年以内の件数が若干多くなっている。

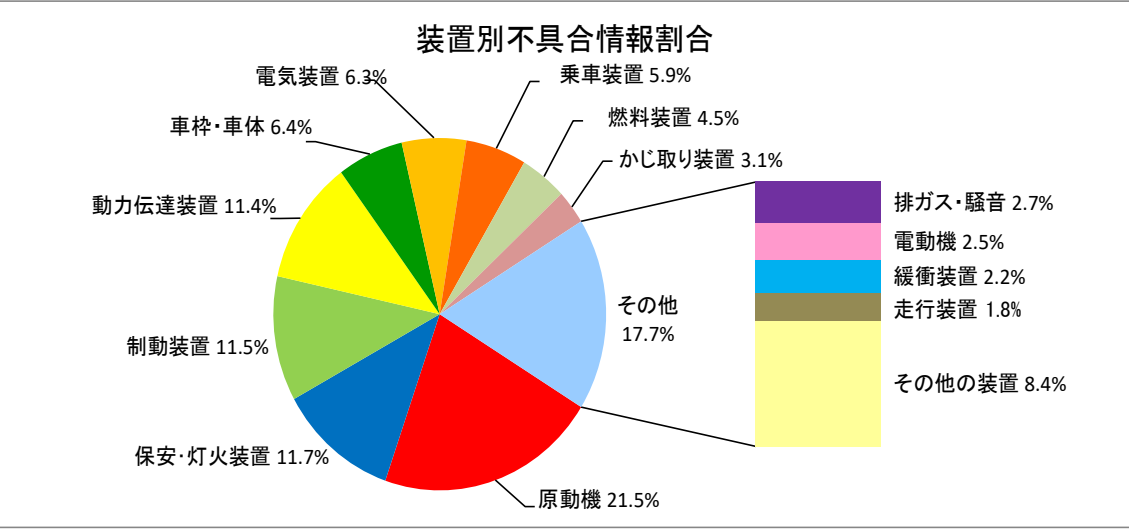


3. 車種（用途）別の不具合情報件数は、「乗用車」が2,097件(66.2%)と最も多く、次いで「軽乗用車」が485件(15.3%)、貨物車が210件(6.6%)の順となっている。



4. 装置別の不具合情報件数は、「原動機」が680件で全体の21.5%と最も多く、次いで「保安・灯火装置」が370件(11.7%)、3番目に「制動装置」が363件(11.5%)の順となっている。

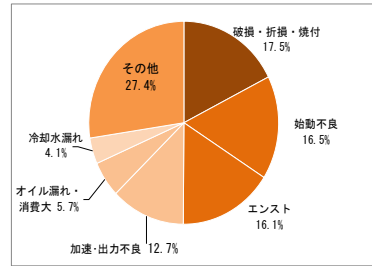
これら不具合情報件数の多い装置分類の上位3種について不具合事象をみると、件数上位に、原動機では「破損・折損・焼付」「始動不良」、保安・灯火装置では「窓ガラスの不良」「後写鏡不良」、制動装置では「制動力不足」といった走行安全性に関わる重大な事象が占めており、件数の中位には「オイル消費大」「変速ショック」や「異音・鳴き」といった快適性・商品性に関わる事象が挙げられている傾向がみられる。



装置別	原動機	保安・灯火装置	制動装置	動力伝達装置	車枠・車体	電気装置	乗車装置	燃料装置	かじ取り装置	排ガス・騒音	電動機	緩衝装置	走行装置	その他の装置	不明	合計
件数	680	370	363	361	204	198	187	144	99	84	79	71	58	267	1	3,166

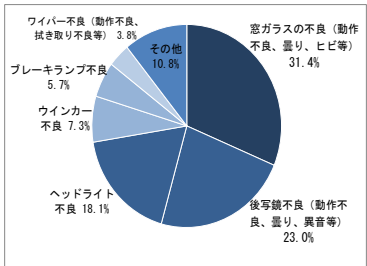
不具合の多い装置分類 上位3種

1. 原動機



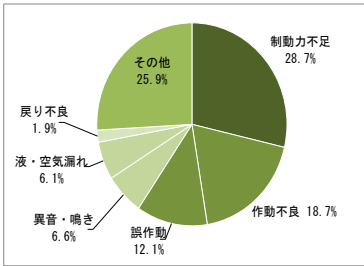
順位	不具合事象	件数
1	破損・折損・焼付	119
2	始動不良	112
3	エンスト	109
4	加速・出力不良	86
5	オイル漏れ・消費大	39
6	冷却水漏れ	28
	その他	186
	合計	680

2. 保安・灯火装置



順位	不具合事象	件数
1	窓ガラスの不良（動作不良、曇り、ヒビ等）	116
2	後写鏡不良（動作不良、曇り、異音等）	85
3	ヘッドライト不良	67
4	ウインカー不良	27
5	ブレーキランプ不良	21
6	ワイパー不良（動作不良、拭き取り不良等）	14
	その他	40
	合計	370

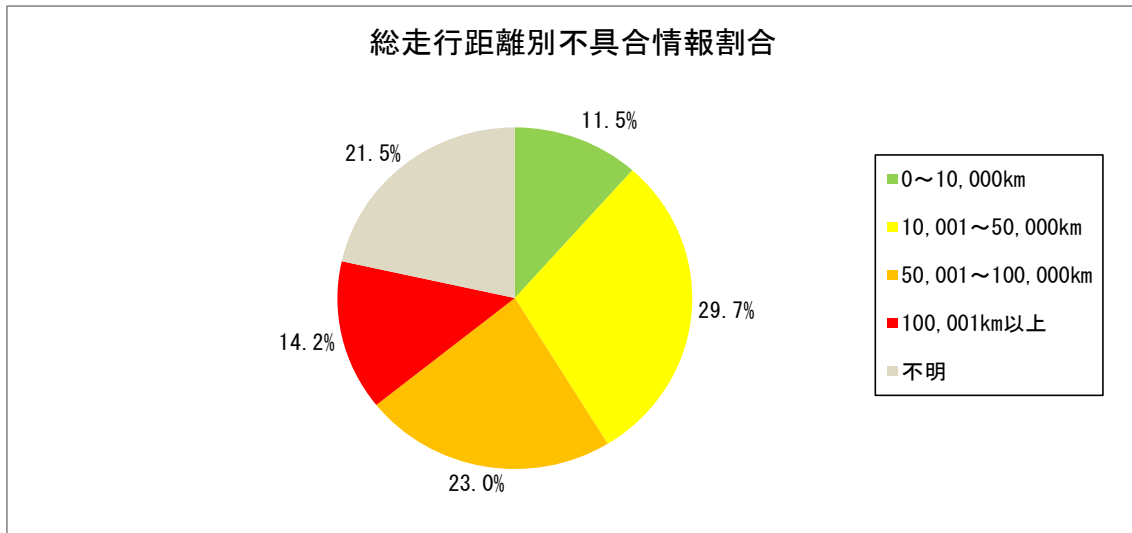
3. 制動装置



順位	不具合事象	件数
1	制動力不足	104
2	作動不良	68
3	誤作動	44
4	異音・鳴き	24
5	液・空気漏れ	22
6	戻り不良	7
	その他	94
	合計	363

5. 総走行距離別の不具合情報件数は、「1万km超5万km以下」が940件(29.7%)と最も多く、次いで「5万km超10万km以下」が729件(23.0%)、「10万km超」が450件(14.2%)、「1万km以下」が365件(11.5%)の順となっている。

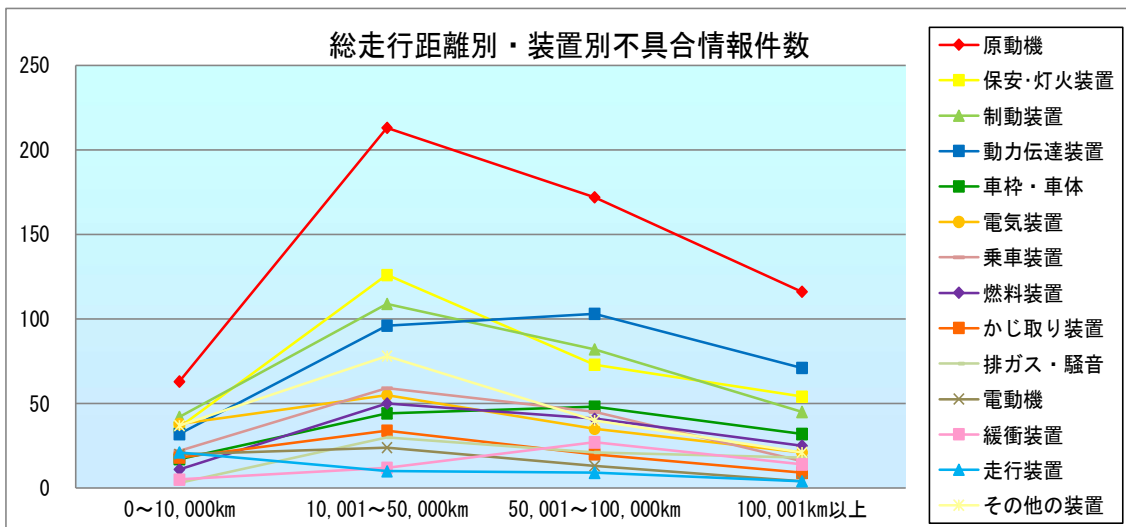
5万km以下と5万km超の不具合情報件数とを比較すると、前者の不具合情報が多く寄せられている。

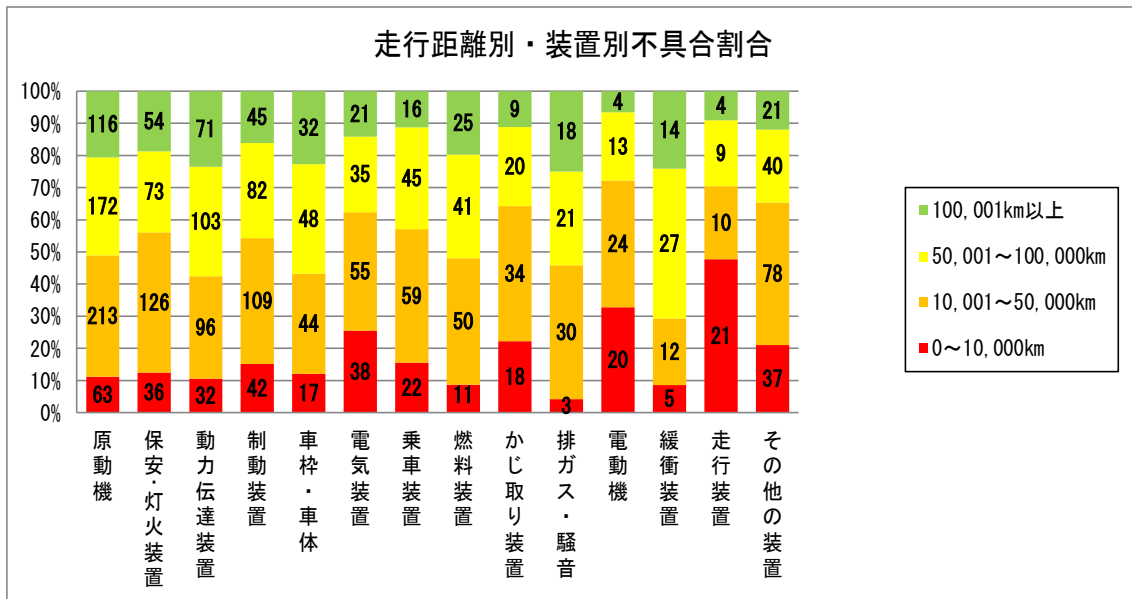


総走行距離別	0～10,000km	10,001～50,000km	50,001～100,000km	100,001km以上	不明	合計
件数	365	940	729	450	682	3,166

6. 総走行距離別・装置別の不具合情報件数をみると、装置別不具合件数上位3種について、「原動機」、「保安・灯火装置」および「制動装置」は1万km超5万km以下の不具合情報件数が最も多くなっている。

また、不具合情報割合をみると、「電動機」「走行装置」は5万km以下の比較的総走行距離が少ない早期に不具合情報が挙げられる傾向がある。

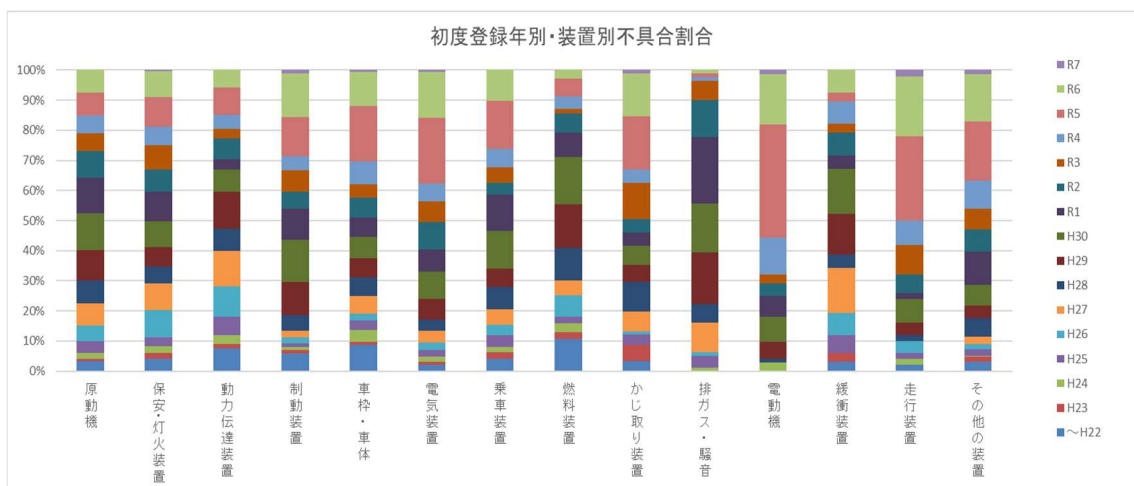
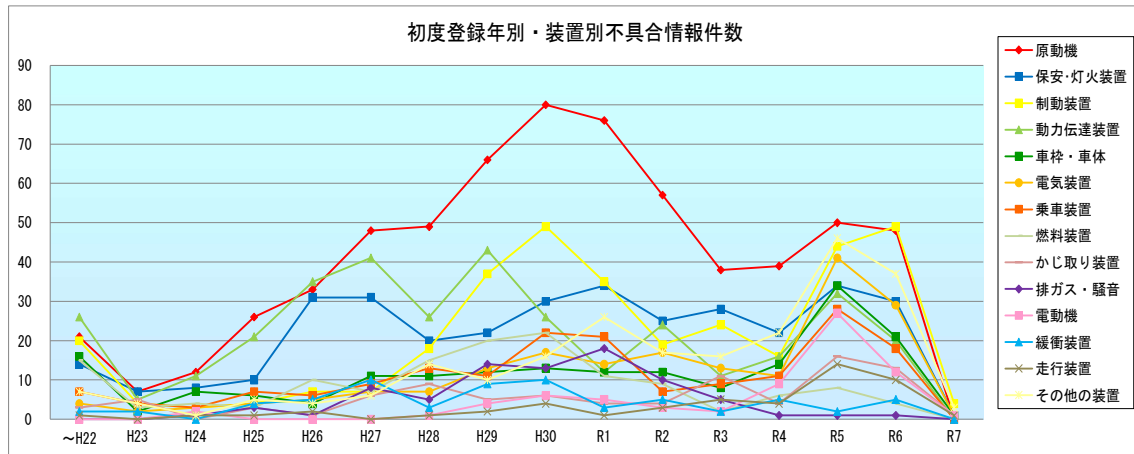




(件)

総走行距離別 装置別	0～10,000km	10,001～50,000km	50,001～100,000km	100,001km以上	不明	合計
原動機	63	213	172	116	116	680
保安・灯火装置	36	126	73	54	81	370
動力伝達装置	32	96	103	71	59	361
制動装置	42	109	82	45	85	363
車枠・車体	17	44	48	32	63	204
電気装置	38	55	35	21	49	198
乗車装置	22	59	45	16	45	187
燃料装置	11	50	41	25	17	144
かじ取り装置	18	34	20	9	18	99
排ガス・騒音	3	30	21	18	12	84
電動機	20	24	13	4	18	79
緩衝装置	5	12	27	14	13	71
走行装置	21	10	9	4	14	58
その他の装置	37	78	40	21	91	267
不明	0	0	0	0	1	1
合計	365	940	729	450	682	3,166

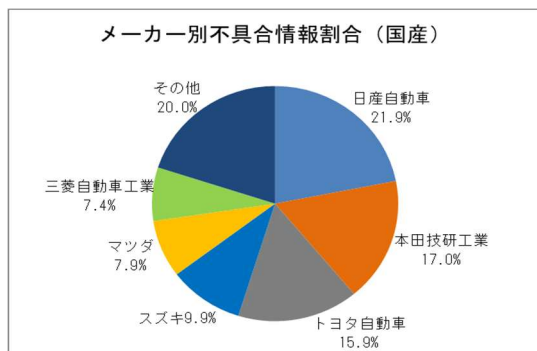
7. 初度登録年別・装置別の不具合情報件数をみると、全体として初度登録R5年の件数が多く、登録後2年程度の車両での不具合情報が多くなっている。



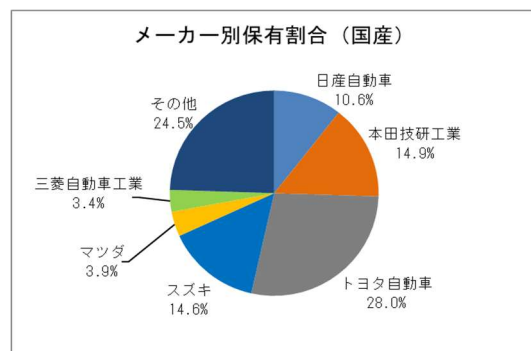
(件)

初度登録年別 装置別	～H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	不明	総計
原動機	21	7	12	26	33	48	49	66	80	76	57	38	39	50	48	0	30	680
保安・灯火装置	14	7	8	10	31	31	20	22	30	34	25	28	22	34	30	1	23	370
動力伝達装置	26	5	11	21	35	41	26	43	26	12	24	11	16	32	20	0	12	361
制動装置	20	4	3	4	7	7	18	37	49	35	19	24	16	44	49	4	23	363
車枠・車体	16	2	7	6	4	11	11	12	13	12	12	8	14	34	21	1	20	204
電気装置	4	2	3	4	5	7	7	13	17	14	17	13	11	41	29	1	10	198
乗車装置	7	4	3	7	6	9	13	11	22	21	7	9	11	28	18	0	11	187
燃料装置	15	3	4	3	10	7	15	20	22	11	9	2	6	8	4	0	5	144
かじ取り装置	3	5	0	3	1	6	9	5	6	4	4	11	4	16	13	1	8	99
排ガス・騒音	0	0	1	3	1	8	5	14	13	18	10	5	1	1	1	0	3	84
電動機	0	0	2	0	0	0	1	4	6	5	3	2	9	27	12	1	7	79
緩衝装置	2	2	0	4	5	10	3	9	10	3	5	2	5	2	5	0	4	71
走行装置	1	0	1	1	2	0	1	2	4	1	3	5	4	14	10	1	8	58
その他の装置	7	4	1	5	4	6	14	10	16	26	17	16	22	46	37	3	33	267
不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
合計	136	45	56	97	144	191	192	268	314	272	212	174	180	377	297	13	198	3,166

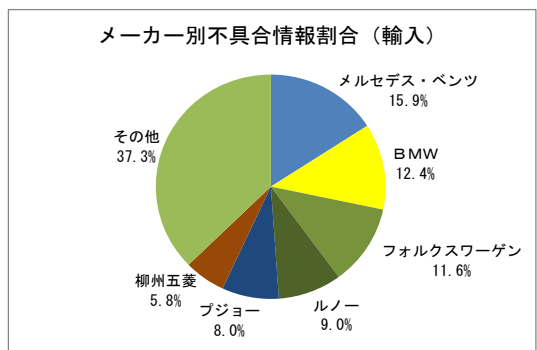
8. メーカー別の不具合情報件数をみると、国産車メーカーでは日産自動車が535件(21.9%)と最も多く、次いで本田技研工業が415件(17.0%)、トヨタ自動車が389件(15.9%)の順となっている。また、輸入車メーカーではメルセデス・ベンツが115件(15.9%)と最も多く、次いでBMWが90件(12.4%)、フォルクスワーゲンが84件(11.6%)の順となっている。



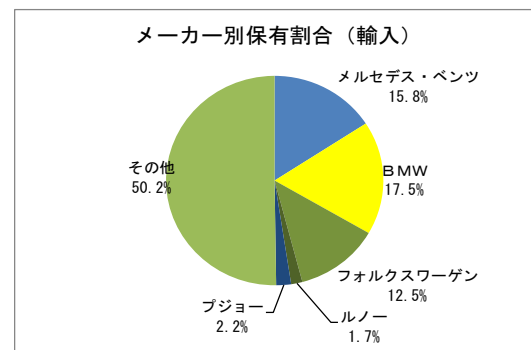
順位	メーカー名	件数
1	日産自動車	535
2	本田技研工業	415
3	トヨタ自動車	389
4	スズキ	242
5	マツダ	192
6	三菱自動車工業	180
	その他	488
	合計	2,441



順位	メーカー名	台数（千）
4	日産自動車	8,232
2	本田技研工業	11,531
1	トヨタ自動車	21,735
3	スズキ	11,338
5	マツダ	3,039
6	三菱自動車工業	2,662
	その他	18,978
	合計	77,515



順位	メーカー名	件数
1	メルセデス・ベンツ	115
2	BMW	90
3	フォルクスワーゲン	84
4	ルノー	65
5	プジョー	58
6	柳州五菱	42
	その他	271
	合計	725



順位	メーカー名	台数（千）
2	メルセデス・ベンツ	775
1	BMW	858
3	フォルクスワーゲン	613
5	ルノー	83
4	プジョー	107
6	柳州五菱	不明
	その他	2,457
	合計	4,893

注：メーカー別保有台数は、令和6年3月末現在における(一財)自動車検査登録情報協会及び(一社)全国軽自動車協会連合会の集計数字（小型特殊自動車及び原動機付自転車を除く。）より算出した。

※ メーカー別保有割合の順位は、不具合件数上位6社において順位付けしたもの。全社での保有台数上位6社を示したものではない。

(付録) 令和6年度ユーザー不具合情報における衝突被害軽減ブレーキおよび
ペダル踏み間違い急発進抑止装置に関する統計結果について

令和 6 年度にユーザーから国土交通省に寄せられた自動車の不具合情報のうち、衝突被害軽減ブレーキ及びペダル踏み間違い急発進抑止装置に関する不具合情報と思われるものを統計的にとりまとめたので、その結果を報告いたします。

なお、この統計結果はユーザーの申告による不具合情報を元にしており、国土交通省として不具合情報の内容について事実関係を保証しているものではありません。

1. 衝突被害軽減ブレーキ

令和 6 年度に衝突被害軽減ブレーキに関する不具合情報は 97 件あった。

(1) 車種別件数

(件)

車種 \ 事象	不作動	不要作動	その他	合計
乗用車	43	30	1	74
軽乗用車	3	11	0	14
貨物車	0	5	0	5
軽貨物車	2	2	0	4
合計	48	48	1	97

(2) 被害別件数

(件)

被害 \ 事象	不作動	不要作動	その他	合計
物損事故	5	1	0	6
人身事故	5	1	0	6
事故なし又は不明	38	46	1	85
合計	48	48	1	97

(3) 物損事故

(件)

車種 \ 事象	不作動	不要作動	その他	合計
乗用車	2	0	0	2
軽乗用車	1	0	0	1
貨物車	0	1	0	1
軽貨物車	2	0	0	2
合計	5	1	0	6

(4) 人身事故

(件)

車種 \ 事象	不作動	不要作動	その他	合計
乗用車	5	1	0	6
軽乗用車	0	0	0	0
貨物車	0	0	0	0
軽貨物車	0	0	0	0
合計	5	1	0	6

2. ペダル踏み間違い急発進抑止装置

令和6年度にペダル踏み間違い急発進抑止装置に関する不具合情報は3件あった。

(1) 車種別件数

(件)

車種 \ 事象	不作動	不要作動	その他	合計
乗用車	1	1	0	2
軽乗用車	1	0	0	1
貨物車	0	0	0	0
軽貨物車	0	0	0	0
合計	2	1	0	3

(2) 被害別件数

(件)

被害 \ 事象	不作動	不要作動	その他	合計
物損事故	0	0	0	0
人身事故	2	0	0	2
事故なし又は不明	0	1	0	1
合計	2	1	0	3

(3) 物損事故

(件)

車種 \ 事象	不作動	不要作動	その他	合計
乗用車	0	0	0	0
軽乗用車	0	0	0	0
貨物車	0	0	0	0
軽貨物車	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

(4) 人身事故

(件)

車種 \ 事象	不作動	不要作動	その他	合計
乗用車	1	0	0	1
軽乗用車	1	0	0	1
貨物車	0	0	0	0
乗合車	0	0	0	0
合計	2	0	0	2